

【ガス分離特性】

ガス分離効率を高めるためには、ハイドレートスラリーに十分にガスを取り込ませる必要があります。しかし、回分式のハイドレートガス分離法では、ハイドレートの形成や凝集によって固気接触が阻害され、取り込み量や選択度が低下することが課題となっています。そこでガスを分散接触させることで界面を攪拌する手法を検討しています。しかしハイドレートが容器の側面に付着するため、ハイドレートと液体が分離し、スラリーを維持できません（図4）。そのため、分散剤や容器の材質がハイドレートの付着性に与える影響についても調べています。

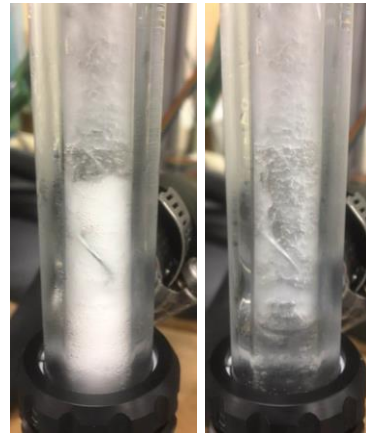


図4. ガス分散時のハイドレート
(左:ガス流通時, 右:流通後)